

訪問看護管理者研修 ベーシックⅡ ～事業所の実務、運営の基本を理解する～

募集期間 7月1日～8月25日  
受講期間  
オンデマンド配信（20時間） 9月 1日(月)～10月31日(金)  
ライブ配信（2時間） 9月12日(土)  
対面による集合研修(13時間) 10月23日(金)～10月24日(土) 東京

対象 当協会「訪問看護管理者研修ベーシックⅠ」を修了していること  
定員 80名  
受講料 会員49,000円 非会員74,000円  
※「訪問看護管理者養成研修会」の修了者は一部の科目の免除可、免除による受講料の減額有

更新日:2026年2月2日

目指す姿：管理者の責務・役割を理解し地域の特性に応じた事業所の運営ができる						
講義名	学習方法	受講方法	講義時間	到達目標	講義内容	講師
事業所の理念と目的	講義	オンデマンド	1時間	●対話を通し職場内で事業所の理念やビジョンの共通理解ができ、他者に説明することができる。	・事業所理念の意義と浸透 ・管理者の制度的な位置づけと役割機能 ・訪問看護を取り巻く社会保障制度の現状と課題の展望 ・保健医療福祉サービスの現状と課題 GW:倫理的課題を内包するもしくはは気になる事例を、ステーション内で検討できるように紹介(提案)・検討	全国訪問看護事業協会 副会長 高砂 裕子 氏
看護に係る制度と政策	講義 演習	ライブ 9月12日(土) 13時00分～15時00分	2時間	●訪問看護に関わる諸制度と取り巻く状況を理解し、事業所運営や事業計画に反映できる。		全国訪問看護事業協会 副会長 高砂 裕子 氏
自組織の分析と経営管理	講義 演習	対面 10月23日(金) 10時00分～14時00分 (昼食60分含む)	3時間	●事業所で起きる問題の分析・整理を自組織の構造から説明することができる。 ●組織分析に用いられる手法が分かり、自組織分析を実施することができる。 ●自事業所の収支を把握し年間の事業計画を立案することができる。 ●管理者が事業計画・予算を立案するために必要な経営管理の基礎知識を述べることができる。	《講義》SWOT分析の方法 《演習》 ・自事業所組織の現状分析からSWOT分析 ・実用に応じた具体的な収支計画書の作成	R&D Nursing ヘルスケア・マネジメント 研究所  代表 深澤 優子 氏
地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割	講義	オンデマンド	1時間30分	●関係機関・職種に対して連携の必要性について適切に判断することができる。 ●社会や地域住民のニーズに対応する医療サービスや看護の在り方を考察し、実践につなげることができる。	・地域包括ケアシステム ・地域診断・課題の抽出 ・地域住民の多様な社会参加 ・ヘルスケアサービスにおける多職種連携	白十字訪問看護ステーション 服部 絵美 氏
訪問看護ステーションがマネジメントする退院支援	講義		30分	●地域の他の医療・福祉の存在を把握し、退院後の訪問調整に反映させることができる。 ●事業所から退院調整について提案し、退院後の療養生活に反映させることができる。	・在宅側からできる退院支援	白十字訪問看護ステーション 服部 絵美 氏
医療安全の基本	演習	オンデマンド	1時間	●最近の環境変化から予測されるリスクの分類ができる。 ●医療安全の認識を持ち、事故を防止するための情報収集・分析・対策・立案・評価を実践できる。 ●安全に訪問看護が提供できる組織体制の仕組みを作ることができる。	・訪問看護事業所における医療安全 ・RCA(根本分析) ・リスクマネジメントの考え方及び実際 ・リスクの分類	訪問看護ステーションけせら 管理者 阿部 智子 氏
訪問看護におけるインシデント	講義	オンデマンド	1時間	●ヒヤリハット及びインシデントを分析できる仕組みづくりと実践ができ、事故予防ができる。		
訪問看護ステーションにおけるハラスメント対策	講義	対面 10月24日(土) 9時00分～12時00分	3時間	●リスクマネジメントを徹底しリスク発生時には重大性や緊急性を的確に判断でき速やかに対処できる。 ●自事業所の事故等を分析・評価し、安全管理を行うことができる。 ●自事業所で生じうるリスクを理解し事故を未然に防ぐ対策を講じることができる。 ●管理者として実践的なハラスメント対応ができる	・ハラスメント対応の実際 《演習》KYT	森/宮医療大学大学院 保健医療学研究科 看護学専攻 教授 武 ユカリ 氏
ハラスメントの定義と対応・看護師の法的責任と業務範囲	講義	オンデマンド	2時間	●ハラスメント予防のためのマニュアルを作成し、相談窓口を作ることができる。 ●ハラスメントに関する法律を理解し、事業所の運営に活かすことができる。 ●苦情処理とカスタマーハラスメントの対策ができる。	・情報漏洩の法的責任 ・ハラスメントに関する法律と苦情処理、整備と対応 ・看護師の法的責任と業務範囲	高村法律事務所 弁護士 高村 浩 氏
自事業所におけるBCPの運用	講義 演習	対面 10月24日(土) 13:00～15:00	2時間	●BCPの事業所内への周知・研修・訓練及び定期的な見直しができる。	・事業所の災害対策 ・地域の防災計画と自然災害のBCPの違い ・自然災害BCP、振興再興感染症のBCP ⇒ベーシックⅠで見直したBCPの持参 《演習》自事業所のBCPの運用について持ち寄り・話し合う	訪問看護ステーションコスモス 管理者 平野 智子 氏
効率的運営のための組織マネジメントの実際とコミュニケーションスキル	演習	対面 10月23日(金) 14時10分～17時10分	3時間	●組織マネジメントに必要な知識を理解しチームにおいてリーダーシップが取れる。 ●自組織のチーム(多職種による)の力量やモチベーションを理解し、状況に合わせたリーダーシップが発揮できる。	・リーダーシップ論 ・モチベーションマネジメント ・ファシリテーション	ひとづくり工房esuco 代表 浦山 絵里 氏
成人学習論	講義	オンデマンド	2時間	●自己主導的な学習を用いた成人学習理論を学び、事業所の質の向上につながるための方向性を示すことができ、自事業所での活用方法を理解し、職員と一緒に理論と実践につなげることができる。 ●職員育成プログラムが整備され、日頃の業務に活用できる。	・成人学習理論 ・職員育成プログラム	訪問看護ステーションひとみ 管理者 小宮山 日登美 氏
ICT・DXの活用	講義	オンデマンド	2時間	●ICT・DXを活用して事業所内での情報を共有し、効果的なコミュニケーションやカンファレンスを実施することができる。 ●情報管理における倫理的な取り扱いを説明することができる。 ●ICTを活用した管理業務を適切に実践するためのセキュリティについて知識を得ることができる。	・ICT・DXの基礎知識 ・ICTにおける効果と注意点、事業所で活用できるICT・DX ・ICT・DX活用におけるセキュリティ	全国訪問看護事業協会 総務主任 千木良 厚治 氏(基本)  調 整 中
社会の変化と課題の自己分析	講義	オンデマンド	2時間	●事業所の課題の抽出ができ、解決に向けての検討と、それを防ぐ対策を講じることができる。	・問題解決のための論理的思考法 ・PDCAサイクル ・問題解決のプロセス	一般社団法人 東京都訪問看護ステーション協会 会長 篠原 かおる 氏
持続可能で発展的な運営マネジメントと営業展開	講義	オンデマンド	1時間	●関係機関や多職種との良好な信頼関係づくりができる。 ●持続的な利用者獲得と発展的な運営をめざし、地域関係者への効果的な営業活動を行うことができる。	・効果的運営マネジメント ・地域課題と多職種との関係構築	一般社団法人 東京都訪問看護ステーション協会 会長 篠原 かおる 氏
安定した事業経営とマネジメント	講義	オンデマンド	1時間	●一人の職員が獲得できる報酬と費用のバランスなどの指標をもとに、事業所の運営にかかわる収入と支出を把握し、安定した事業経営につなげることができる。 ●今後の経営戦略を具体的に述べるができる。 ●PR・マーケティング方法を検討し実行できる。 ●毎月の収支状態を把握でき、赤字を回避するために営業方法(PR等)を検討し実行できる。	・経営状態の把握・評価 ・経理財務の実際 ・地域の訪問看護市場の理解 ・採算性のある経営戦略 ・一人の職員が獲得できる報酬と支出の計算方法 ・PRとマーケティング	株式会社UPDATE 代表取締役 小瀬 文彰 氏
事業所における労務管理の実際	講義	オンデマンド	1時間	●効果的な面談を定期的に行うことにより職員の状況を知り労務管理の改善につなげることができる。 ●職場で生じやすいストレスを理解し、職員のメンタルヘルスを維持できる方策を講じることができる。	・労務管理の実際 ・メンタルヘルス指針(労働者の心の健康の保持増進のための指針)	常盤大学 看護学部 教授 角田 直枝 氏
	講義 演習		1時間	●定期的な労働状況の調査や適正な環境について検討できる。	・職場環境と人材定着 ・働き方とライフバランス ・事例提供(職員の定着につなげる働きやすい職場づくり)	常盤大学 看護学部 教授 角田 直枝 氏
	講義		1時間	●職員からのボトムアップを活用し一体となって、働きやすい職場づくりに取り組むための働きかけや仕組みができる。 ●職場内を活性化し働きやすい自事業所の職場宣言ができる。		常盤大学 看護学部 教授 角田 直枝 氏
自己評価ガイドライン評価の継続とPDCAサイクル	演習	対面 10月24日(土) 15時10分～17時10分	2時間	●事業所の質評価の必要性とその手法を理解し適切に実践できる。 ●自己評価ガイドラインを活用しPDCAサイクルを回すことで、事業所の質の向上につなげることができる。 ●事業所に関する自己評価・他者(第三者)評価の機会を設ける。 ●業務マニュアルやガイドラインの整備ができる。	・訪問看護の質評価指標の理解 ・自己評価ガイドラインの実施 ・他者評価の方法・種類 ・自事業所のマニュアルを整備する ・ケアの質評価の紹介(利用者満足度調査など)	東久留米白十字訪問看護ステーション 管理者 中島 朋子 氏  東久留米白十字訪問看護ステーション 管理者 中島 朋子 氏
専門性の高い看護師と訪問看護にかかる職能団体	講義	オンデマンド	1時間	●専門性の高い看護師の種類と特性を理解するとともに、育成するための取り組みを計画できる。 ●訪問看護にかかる職能団体の機能と活動を説明することができる。	・専門性の高い看護師の種類と特性 ・熟練した看護技術と知識を有する専門性の高い看護師を養成するための教育体制 ・看護実践のできる専門性の高い看護師を社会に送り出すための教育計画の立案 ・訪問看護関係の職能団体の役割と活用	全国訪問看護事業協会 参与 齋藤 訓子 氏
多様な専門職との有効な連携方法	講義	オンデマンド	1時間	●多職種の役割を理解し、社会資源として捉えることができる。 ●地域で活動する専門職を育成する視点を持つことができる。	・在宅での多職種の役割 ・社会資源の中で多角的な視点と協働の意義 ・地域での多様な専門職の活用と育成	全国訪問看護事業協会 参与 齋藤 訓子 氏